



コバトン



令和4年度病害虫発生予察注意報第5号

令和4年9月22日
埼玉県病害虫防除所

作物名 ネギ・ブロッコリー
病害虫名 シロイチモジヨトウ

県内のシロイチモジヨトウのフェロモントラップへの誘殺数が平年より多く、7月27日に注意報第3号を発表しましたが、その後も多い傾向が続いています。ネギほ場での被害が増加しており、ブロッコリー等での被害も確認されています。

本虫は野菜、花きを中心として60種類以上の作物を加害します。

ネギでは、ふ化幼虫が集団で葉の先端や折れた部分から葉身内へ食入してしまうと、薬剤効果が低下するため、被害を確認したら直ちに防除を実施しましょう。

1 注意報の内容

- (1) 発生地域 県内全地域
- (2) 発生程度 多

2 注意報発表の根拠

- (1) 病害虫防除所が設置したシロイチモジヨトウのフェロモントラップへの雄成虫誘殺数が、3か所すべて（深谷市、越谷市、杉戸町）で多い傾向が続いている（図）。
- (2) 9月15日に気象庁が発表した季節予報によれば、関東甲信地方の向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並か多いと予想されている。
- (3) 9月中旬にネギほ場（5か所）を調査したところ、寄生株率が平均34.4%（昨年同時期は平均0.8%）と被害が増加している。また、定植間もないほ場では今後の生育に大きく影響することが懸念される。

3 防除対策等

- (1) 早期発見に努め、卵塊やふ化直後の1～2齢幼虫の集団を見つけたら速やかに取り除き、ほ場外で適切に処分する。
- (2) 幼虫が作物内に食入してしまうと薬剤効果が低下するので、被害を確認したら直ちに防除を実施する。
- (3) 老齢幼虫に対しては薬剤効果が低下するため、薬剤散布は若齢幼虫のうちに実施する。また、同一系統の薬剤の連用は避ける。（表1、2）

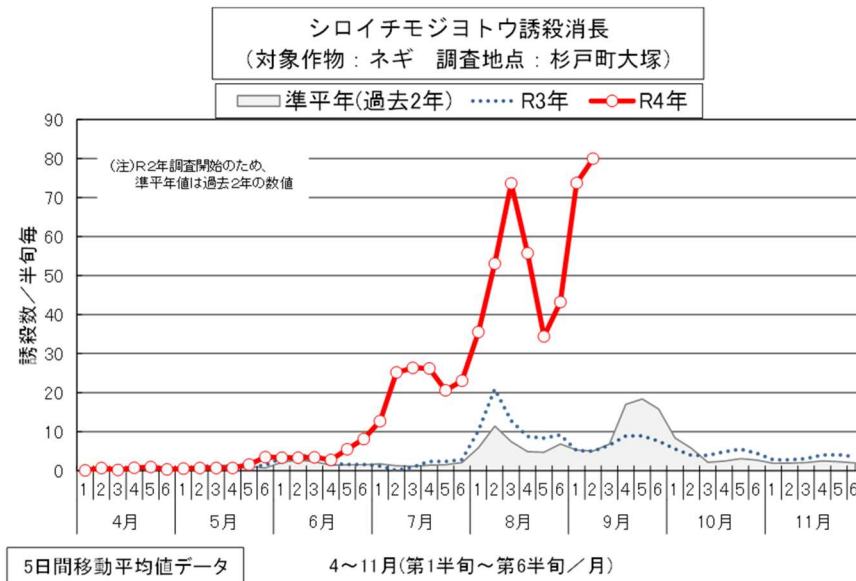
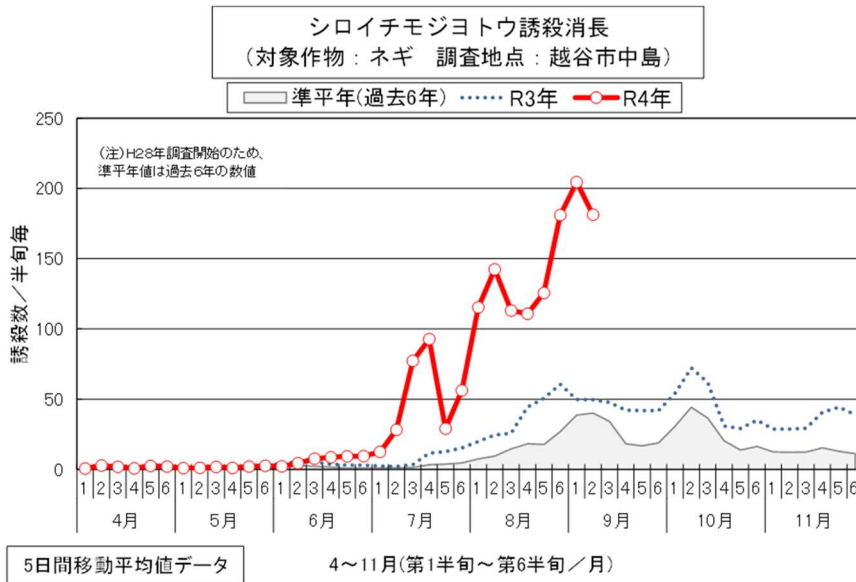
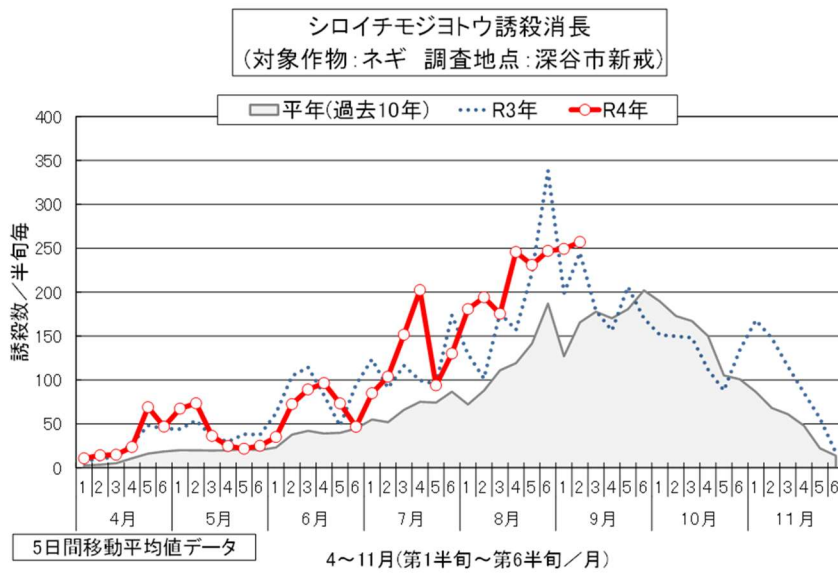


図 シロイチモジヨトウ誘殺消長 (上:深谷市新戒 中:越谷市中島 下:杉戸町大塚)



写真1 シロイチモジヨトウ若齢幼虫
(体長約2mm)



写真2 ネギの被害葉



写真3 ブロッコリーの被害葉と幼虫

表1 ネギのシロイチモジヨトウの防除薬剤例

薬 剤 名	I R A C コード	使用時期	使用 回数
アディオソ乳剤	3 A	収穫7日前まで	3回以内
ディアナSC	5	収穫前日まで	2回以内
アフームエクセラ顆粒水和剤	6、15	収穫7日前まで	3回以内
カスケード乳剤	15	収穫14日前まで	3回以内
ロムダンフロアブル	18	収穫7日前まで	3回以内
トルネードエースDF	22A	収穫14日前まで	2回以内
ミネクトデュオ粒剤	4A、28	収穫3日前まで	3回以内
ヨーバルフロアブル	28	収穫3日前まで	3回以内
グレースシア乳剤	30	収穫7日前まで	2回以内
プレオフロアブル	UN	収穫3日前まで	4回以内

(使用基準は令和4年9月20日現在)

表2 ブロッコリーのシロイチモジヨトウの防除薬剤例

薬 剤 名	I R A C コード	使用時期	使用 回数
アフームエクセラ顆粒水和剤	6、15	収穫7日前まで	3回以内
ヨーバルフロアブル	28	収穫前日まで	3回以内
プレオフロアブル	UN	収穫7日前まで	2回以内

(使用基準は令和4年9月20日現在)

<農薬使用上の注意事項>

- 1 農薬は、ラベルの記載内容を必ず守って使用する。
- 2 剤の使用回数、成分毎の総使用回数、使用量及び希釈倍数は使用の都度確認する。特に、蚕や魚に対して影響の強い農薬など、使用上注意を要する薬剤を用いる場合は、周辺への危被害防止対策に万全を期すること。
- 3 農薬を散布するときは、農薬が周辺に飛散しないよう注意する。
- 4 周辺の住民に配慮し、農薬使用の前に周知徹底する。
- 5 農薬の最新情報は、埼玉県農産物安全課ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0907/nouann/saishintourokujouhou.html>

4 問合せ先

埼玉県病害虫防除所 電話：048-539-0661